

# 家族でニコニコチャレンジ①取り組みの様子



令和3年6月～7月実施

## ● 基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！ ●

「家族でニコニコチャレンジ」第1回目の取り組みについて、ご報告をいただきました。

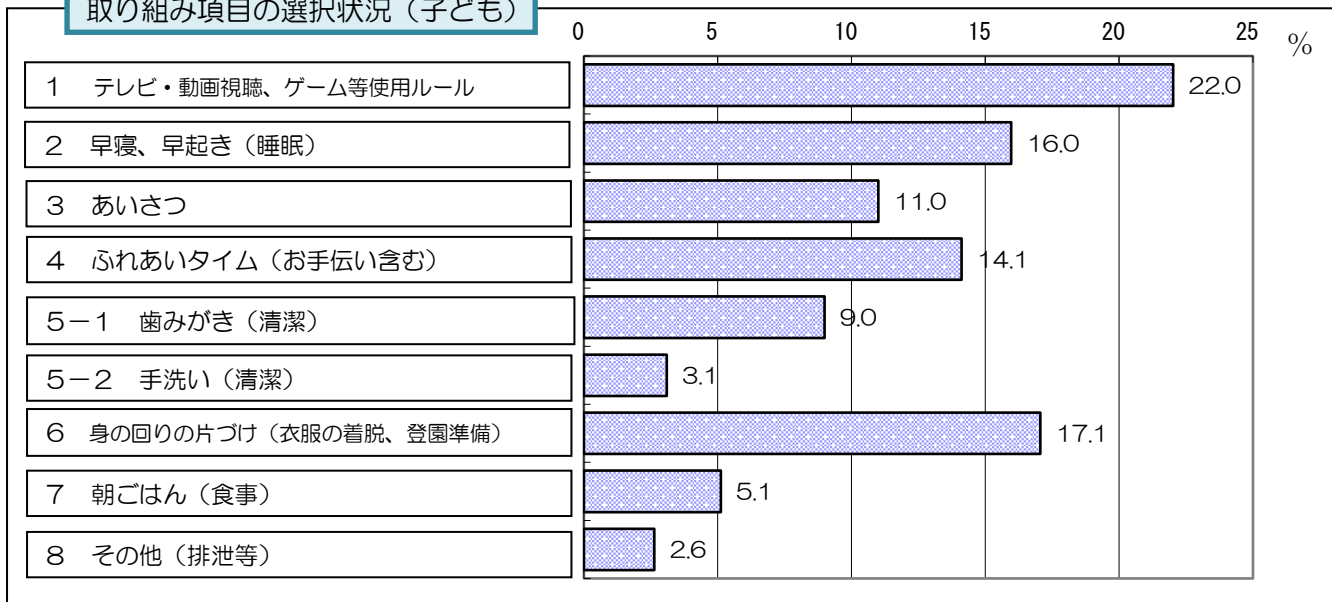
家族で意識しやすいように「家族チャレンジャー」も一緒に取り組んでいただき、家族が基本的な生活習慣の定着に向けた「手本」となり、子どもたちも張り切って取り組んだ様子が伝わってきました。市教育委員会として、「テレビ・動画視聴、ゲーム等の使用ルール」をおすすめ項目としましたが、他の項目に意識して取り組むことで、自然と動画の視聴時間が減少したり、家族で決めたルールを守ろうとしたりする様子がうかがえました。

### < 取り組み状況 >

集計協力園／年長児在園 45園／45園

回収率…96.5%（報告園の提出者数：632名／報告園での配布者数：655名）

#### 取り組み項目の選択状況（子ども）



#### 家族チャレンジャーの状況

※複数回答含む

父	母	兄	姉	弟	妹	祖父	祖母	その他	なし
112	453	39	54	8	7	1	2	2	6

#### 家族チャレンジャーの取り組み項目の選択状況 ※5歳児の項目と同じ。複数回答含む

取組項目番号	1	2	3	4	5-1	5-2	6	7	8
人数（人）	119	70	80	225	28	18	44	23	29
割合（%）	18.7	11.0	12.6	35.4	4.4	2.8	6.9	3.6	4.6

## 保護者からの感想等

### 《子どもの様子に関わる感想》

自ら意識してお手伝いをしようとする姿勢がよく見られた。時にはうまくいかず「もうやだ！」と怒ってしまうこともあったが、それでも最後まで頑張ってくれた。

「ごはんを作ってくれてありがとう」と日々に一緒に準備をして、大変さに気付いた時の息子の顔が忘れられません。

「早寝」を目標に取り組みました。チャレンジを始めてから夜早く寝る習慣が付き、朝が早いので夜も早く寝るサイクルが上手くできたように思います。小学校に向けてこのまま続けていけたらいいなと思う。

保育園で「手洗い」の指導を行っていただいているようで、「こうやって洗うんだよ。」と教えてくれた。風邪や新型コロナウイルス感染症予防のために、引き続き手洗いの大切さを伝えていきたい。

子どもはよく見ていて、親の行動を真似ていることが分かった。子どもに真似されて困ることはしないように気を付けたいと思った。

帰宅後はスマートフォンの操作時間が多かったが、今回のチャレンジを機にその時間を子どもたちと接する時間にした。絵本を読むことが多かったが、子どもたちが笑ったり喜んだりする姿はとてもかわいかった。今後も続けていきたい。

家族でチャレンジというのは面白いと思いました。親子で目標を持ってチャレンジすることはなかなかないので、いい機会になりました。

## 園からの感想等

### 《家族で

家族での取り組みは、親と子で互いに協力しようとする姿があり、親（家族）を巻き込んだ取り組みはとはとても良いと感じた。

今年度の取り組みは、家族での取り組みとなっており、大人も言うことは簡単だが、自分も目標が達成できない日があることを実感したり、共通の話題にしたり、同じ目標にして励まし合ったりする等、各家庭に生かされたチャレンジでよかったと思う。

子どもは「早寝・早起き」を目標にすることが多く、保護者は「ふれあいタイム」を持つという目標が多かった。保護者は、日々、仕事・家事・子育てに追われている様子が感じられ、この取り組みを通して、子どもと向き合う時間の大切さに気付かれたようだ。

子どもだけではなく、家族も一緒に目標を決めて取り組むことは、家族の共通の話題になり、取り組み自体がふれあいの場となったり、励みになったりする機会だったのではないかと感じた。

## 今回の取り組み結果と次回の取り組みに向けて

### ☆ 今回の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- 子どもの様子に合わせてお家の方も家族チャレンジャーとして楽しく取り組んでいると感じた。
- 期間が終わっても、継続したいとの声が多くあり、肯定的な意見が多かった。
- 親子での取り組みが家族の中にも広がり、家族みんなが参加した様子も見られた。その様子から、生活のメリハリとなったり、家族のコミュニケーションにつながったりしていたように感じた。
- 親子でチャレンジし、親が声掛けだけではなく一緒に行うので、子どもがやる気を示し、さらに家庭内で意識が高まるという相乗効果が見られた。